

「ベトナムと日本の教育協力はコロナウイルスに負けない！」

BPO-LTS（現地記者）：現在、新型コロナウイルスの流行が日本で広がり、日本とベトナムの間の教育交流に影響を与えています。今日は、東京経済大学の教授・アジア教育交流研究機構（AAEE）の代表理事であり、ベトナム、ビンフック省友好組織連合公認アドバイザーである関昭典氏にお話を伺います。

関教授：ビンフック省の皆さん、こんにちは。関昭典です。私は、教育アドバイザーとして日本やアジア各国の教育事情について皆さん議論する立場にあります。しかし、今日、私は教育とは関係のない不幸なニュースを取り上げなければなりません。ちょうど今日（4月17日）、東京で新型コロナウイルスによる新しい感染が200件を超えました。

通常、毎年3月と4月は日本で桜の季節、私たちの国を訪問すると、咲く桜の木の下で花見をすることができます。しかし、今年は全員が屋内にいなければならずとても残念です。また新型コロナウイルスの流行により、本学（東京経済大学）では新入生を迎える入学式も開催できませんでした。

日本では新年度は4月に始まります。新たな始まりに胸を躍らせるはずの4月ですが、今年は全国ほぼすべての学校が閉鎖されています。東京の大学に関して言えば、私たちはオンライン教育・学習に挑戦しています。これまでにほとんど経験のないことです。私自身、教師として「異文化コミュニケーション」など多くのオンライン授業の準備を迫られました。しかし、オンラインの授業だと、学生は退屈してしまうのではないかと心配しています。

日本政府は今日の困難な問題を解決するために最善を尽くしています。

- ・全国民に10万円を給付することを決定しました。
- ・ホテルを無症状、もしくは軽症者の入院先としていくつかのホテルを棟毎借り上げています。重傷者の治療に専念し死者を一人でも減らすためです。
- ・全世帯にサージカルマスクの代わりに布製マスクを配布することを決定しました。私の家庭にも間もなく届くはずですが、日本国民が布マスク配布に必ずしも満足しているわけではありませんがこれにより、より多くのサージカルマスクを医療機関が確保できるようになるとのことです。

私はベトナムのこともビンフック省の人々のことも大好きです。ベトナムを本当に愛しているので、ビンフック省友好組織連合アドバイザーになることを決めました。

日本の学生とベトナム人学生間の教育交流活動を実行する準備が既にできています。新型コロナウイルスの流行が終わり次第すぐにでも開催したいです。

また、私はビンフック省をはじめベトナム国の教育セクターの発展に貢献するための様々な計画を備えています。この計画を皆さんと共に実践できる日を辛抱強く待ち続けます。

私たち日本人の心はいつも皆さんと共にあります。この難局を、皆で力を合わせて乗り切りましょう。